

<事例> テナガコガネ亜科の系統関係—遺存固有状態のヤンバルテナガコガネ

コガネムシ科テナガコガネ亜科 Euchirinae は、ヒメテナガコガネ属 *Propomacrus*、テナガコガネ属 *Cheirotonus*、ドウナガコガネ属 *Eucbeirus* の 3 属からなる。このうちテナガコガネ属は、パリー種群とマクレイ種群に分けられている。細谷・荒谷らは、ヤンバルテナガコガネ *Cheirotonus jambar* の保全研究の一環として、ミトコンドリア DNA の 16S rRNA 遺伝子を用いたテナガコガネ亜科の系統関係について研究を行っている。

系統解析の結果、テナガコガネ亜科が、コガネムシ科食葉群の系統で最初に他から分岐しており、テナガコガネ亜科 3 属のうちヒメテナガコガネ属が最初に分岐し、ついでドウナガテナガコガネ属とテナガコガネ属の 2 種群がほぼ 3 分岐したことが明らかになった。また、ヤンバルテナガコガネは、中国東南部～ベトナムに分布するヤンソンテナガコガネ *Cheirotonus jansonii* と近縁であるが、その分岐が深く、ヤンバルテナガコガネの沖縄への隔離が古いものであることが示された。

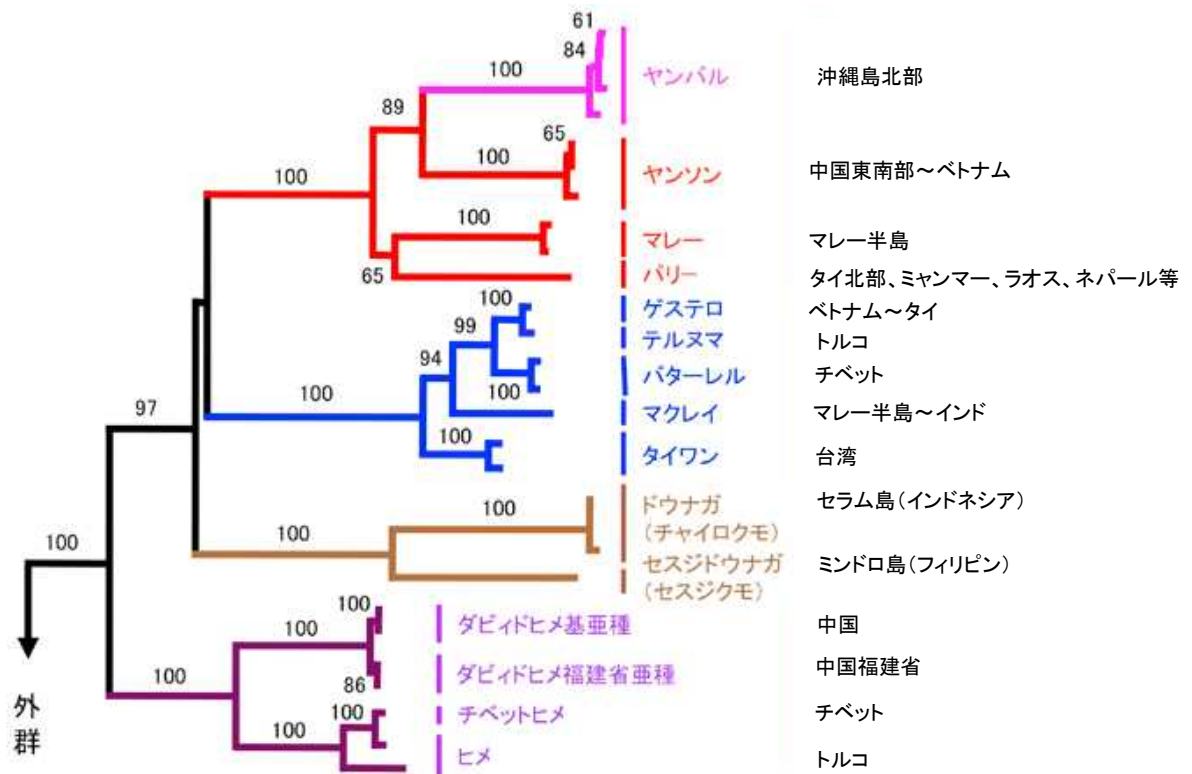


図 テナガコガネ亜科のミトコンドリア 16S rRNA 遺伝子に基づく系統関係 (NJ 法)。

各枝の数値はブートストラップ確率。

出典：細谷忠嗣，荒谷邦雄. 2010. コガネ博 2010 レジューメ集. をもとに作成。

赤・ピンク：テナガコガネ属パリー種群，**青**：テナガコガネ属マクレイ種群

茶：ドウナガテナガコガネ属，**紫**：ヒメテナガコガネ属